

北東アジア動向分析

●中国(東北三省)

2021年の東北三省主要経済指標

中国国家统计局の発表によると、2021年の中国の国内総生産(GDP)は、114兆3670億元(名目値)であり、実質GDP成長率は前年同期比8.1%となった。そのうち、2021年の東北三省の域内総生産(GRP)の名目値と実質GRP成長率は、遼寧省が2兆7584億元で前年比5.8%増、吉林省が1兆3236億元で同6.6%増、黒龍江省が1兆4879億元で同6.1%増となった。三省のGRPの産業別の内訳をみると、2021年における遼寧省の第1次産業の付加価値額は2461.8億元で前年比5.3%増、第2次産業は1兆875億元で同4.2%増、第3次産業は1兆4247億元で同7.0%増となった。吉林省の第1次産業の付加価値額は1553.8億元で同6.4%増、第2次産業は4768.3億元で同5.0%増、第3次産業は6913.4億元で同7.8%増となった。黒龍江省の第1次産業の付加価値額は3463.0億元で同6.6%増、第2次産業は3975.3億元で5.0%増、第3次産業は7440.9億元で6.3%増となった。

東北三省の工業生産の動向をみると、2021年の一定規模以上の工業企業(年間売上高2000万元以上)の付加価値増加率は、遼寧省が前年同期比4.6%増、吉林省が同4.6%増、黒龍江省が同7.3%増になった。さらに、主な産業部門別の数値をみると、遼寧省では自動車製造業が同8.4%増、一般設備製造業が同14.1%増と

なり、吉林省では自動車製造業が同1.8%減、食品製造業が同12.0%増、医薬品製造業が同20.8%増となり、黒龍江省では食品製造業が同6.1%増、一般設備製造業が同10.7%増、自動車製造業が同23.0%増となった。

投資については、2021年における遼寧省の固定資産投資額(農家投資を除く以下同じ)は前年同期比2.6%増、吉林省は同11.0%増、黒龍江省は同6.4%増であった。固定資産投資額の産業別の内訳をみると、遼寧省の第1次産業は前年同期比5.6%減、第2次産業は同5.1%増、第3次産業は同1.7%増であった。吉林省の第1次産業の固定資産投資額は同13.7%増、第2次産業は同10.9%増、第3次産業は同11%増であった。黒龍江省の第1次産業の固定資産投資額は同5.6%増、第2次産業は同14.5%増、第3次産業は同2.2%増となった。

消費動向をみると、2021年の社会的消費財小売総額は、遼寧省が9783.9億元で前年同期比9.2%増、吉林省が同10.3%増、黒龍江省が5542.9億元で同8.8%増となった。消費者物価指数(CPI)は、遼寧省が前年同期比1.1%上昇、吉林省が同0.6%上昇、黒龍江省が同0.6%上昇した。

貿易動向をみると、2021年の輸出入額は、遼寧省が7724億元で前年同期比17.6%増、吉林省が1503.8億元で同17.3%増、黒龍江省が1995億元で同29.6%増となった。内訳をみると、遼寧省で

は輸出額が3312.6億元で同24.9%増、輸入額が4411.4億元で同12.6%増となり、吉林省では輸出額が353.5億元で同21.5%増、輸入額が1150.2億元で同16.0%増となり、黒龍江省では輸出額が447.7億元で同24.4%増、輸入額が1547.3億元で同31.2%増となった。

ハイテク産業をみると、2021年における中国のハイテク製造産業の付加価値は前年同期比18.2%増となった。内訳をみると、新エネルギー車と集積回路の生産量はそれぞれ同152.5%、同37.5%増加した。東北三省をみると、2021年における遼寧省のハイテク製造産業の付加価値は同12.9%増となった。内訳をみると、新エネルギー車、産業用ロボット、および集積回路の生産量は前年同期比でそれぞれ124.0%、6.1%、および42.8%増加した。吉林省のハイテク製造産業は同21.6%増となった。黒龍江省ではハイテク産業の増加率が公表されていない。

2021年中国10省で人口減

中国国家统计局の発表によると、2021年中国の出生数が1062万人で、出生率が7.52%となり、1949年建国以来最少となった。現時点まで、すでに26の省が2021年の出生人口に関するデータを発表した。河北、遼寧、上海、江蘇、山西、内蒙古、黒龍江、湖北、湖南、重慶を含む10の省・直轄市・自治区では人口自然増加率は負になった(表2)。人口自然増加率がマイナス

表1

		2019年				2020年				2021年			
		中国	遼寧	吉林	黒龍江	中国	遼寧	吉林	黒龍江	中国	遼寧	吉林	黒龍江
経済成長率(実質)	%	6.1	5.5	3.0	4.2	2.3	0.6	2.4	1.0	8.1	5.8	6.6	6.1
工業生産伸び率(付加価値額)	%	5.7	6.7	3.1	2.8	2.4	1.8	6.9	3.3	9.6	4.6	4.6	7.3
固定資産投資伸び率(名目)	%	5.1	0.5	▲16.3	6.3	2.9	2.6	8.3	3.6	4.9	2.6	11.0	6.4
社会的消費財小売額伸び率(名目)	%	8.0	6.1	3.4	6.2	▲3.9	▲7.3	▲9.2	▲9.1	12.5	9.2	10.3	8.8
輸出入収支	億ドル	4,215.1	▲142.0	▲94.6	▲166.4	5,350.3	▲189.4	▲106.8	▲124.6	6,837.1	▲172.0	▲124.7	▲172.1
輸出伸び率	%	0.5	▲2.6	▲0.6	18.8	3.6	▲15.3	▲10.3	3.2	21.2	24.9	21.5	24.4
輸入伸び率	%	▲2.8	▲5.0	▲5.7	4.2	▲1.1	▲5.8	1.1	▲22.5	21.5	12.6	16.0	31.2

(注)前年比

工業生産は、一定規模以上の工業企業のみを対象とする。2011年1月には、一定規模以上の工業企業の最低基準をこれまでの本業の年間売上高500万元から2,000万元に引き上げた。

2011年1月以降、固定資産投資は500万元以上の投資プロジェクトを統計の対象とするが、農家を含まない。

2019年以降の貿易データは公表値が元建てであったことから、輸出・輸入の伸び率は公表されている元建て数値の伸び率、貿易収支は元建て貿易収支の数値を人民銀行公表の期末為替レート(2019年12月末:7.0128、2020年12月末:6.5434、2021年12月末:6.3897)によりドル建てに修正したものである。

(出所)中国国家统计局、商務部、遼寧省統計局、吉林省統計局、黒龍江省統計局ウェブサイトならびに黒龍江日報、遼寧日報、吉林日報、人民銀行の資料より作成。

になった省・直轄市・自治区は、主に東部と中部に集中している。

2016年、中国政府は「一人っ子政策」を廃止し、子供を2人まで容認した。続いて、2021年5月31日中国は産児制限を緩和

し、夫婦1組につき3人まで子供をもうけることを認める方針を発表した。ただし、少子高齢化が進む中、持続的な出生数の急増にはつながっていない。それは、中国でも人口減少社会の到来が目前に迫っているこ

とが明らかになった。

ERINA調査研究部研究員
董琪

表2

東部省	2021年常住人口 (万人)	人口自然増加率 (人口千対)	中部省	2021年常住人口 (万人)	人口自然増加率 (人口千対)	西部省	2021年常住人口 (万人)	人口自然増加率 (人口千対)
北京	2,189	0.96	山西	3,480	▲ 0.26	重慶	3,212	▲ 1.55
天津	-	-	内蒙古	2,400	▲ 1.28	四川	-	-
河北	7,448	▲ 0.43	吉林	-	-	貴州	3,852	4.98
遼寧	4,229	▲ 4.18	黒龍江	3,125	▲ 5.11	雲南	4,690	1.23
上海	2,489	▲ 0.92	安徽	-	-	チベット	366	8.70
江蘇	8,505	▲ 1.10	江西	4,517	1.63	陝西	3,954	0.51
浙江	6,540	1.00	河南	9,883	0.64	甘肅	2,490	1.42
福建	4,187	1.98	湖北	5,830	▲ 0.88	青海	594	4.31
山東	10,170	0.02	湖南	6,622	▲ 1.15	寧夏	725	5.53
広東	12,684	4.52				新疆	2,589	0.56
広西	5,037	2.88						
海南	-	-						

(出所) 中国国家统计局、各省の2021年度の国民経済和社会发展統計公報より作成。